

2020年6月17日

天馬の株主の皆様各位  
報道関係各位

天馬のガバナンス向上を考える株主の会

## ISS レポートにおける館野氏と春山氏の賛成推奨への変更 及び

### 本年6月16日付けで発行された議決権行使助言会社 グラスルイスによるレポートについて

「天馬のガバナンス向上を考える株主の会」(以下「当会」といいます。)は、本年5月20日付け「天馬株式会社に対する株主提案権の行使について」において、天馬株式会社(東証1部：証券コード7958、以下「天馬」といいます。)に対し、本年6月26日開催予定の定時株主総会(以下「本総会」といいます。)での取締役選任について、現取締役を完全に刷新し、新たな取締役体制にすることを求める株主提案(以下「本提案」といいます。)を行っております(本総会招集通知22～26頁記載の本総会の第5号議案)ところ、有力な議決権行使助言会社である Institutional Shareholder Services Inc.(以下「ISS」といいます。)及び Glass, Lewis & Co., LLC(以下「グラスルイス」といいます。)のレポートに関する情報を新たに入手しましたので、以下のとおりお知らせいたします。

#### 1. ISS レポートにおける館野氏と春山氏の賛成推奨への変更

当会は、本年6月15日に当会にて公表しておりましたとおり、本年6月12日付けで発行されたISSのレポート(以下「ISSレポート」といいます。)では、館野一治氏及び春山幸雄氏については、今回のベトナムでの贈賄事件に関与した可能性があるため、その取締役への選任に反対を推奨すると記載されているとの情報を入手しておりましたが、その後、両氏がベトナムでの贈賄事件に関与した可能性があるという点は全くの事実誤認であるという当会の指摘を受けて、6月16日付けで、ISSが、当初のレポートのうち館野一治氏及び春山幸雄氏の選任議案に関する部分を「反対推奨」から「賛成推奨」に変更し、結果として、本提案のうち、現時点で取締役への就任承諾が得られている6名の取締役全員について、「賛成推奨」がなされているとの情報を新たに入手しました。

注：本書は、本総会における会社提案議案及び株主提案議案のいずれについても、当会を構成する者又は第三者に議決権の行使を代理させることを勧誘するものではありません。

## 2. グラスルイスによるレポートについて

また、当会は、本年 6 月 16 日付けで発行されたグラスルイスのレポート(以下「グラスルイスレポート」といいます。)で、会社提案に係る金田宏常務取締役、須藤隆志取締役、与謝野明氏の 3 名について、いずれもベトナムでの贈賄事件に関与した可能性があるため、その取締役選任議案につき「反対推奨」するとされている旨の情報を入手いたしました。これらは、当会の主張について、ISS だけでなくグラスルイスからもご理解がいただけたものと受け止めております。

また、当会は、本提案として、春山幸雄氏(執行役員)、館野一治氏(常務執行役員)、柳澤成之氏(執行役員)、坂井一郎氏(執行役員)、川村修治氏(常務執行役員)、筒野信之進氏(執行役員)、江河知寿氏(執行役員)及び瀧上敬亮氏(執行役員)の 8 名を「監査等委員でない取締役」として選任するよう求める議案を提案しているところ、グラスルイスレポートでは、上記 8 名の中で、現時点で取締役への就任承諾が得られている 6 名のうち、春山幸雄氏、館野一治氏及び坂井一郎氏の 3 名について「賛成推奨」されているとの情報も入手いたしました。

他方、本提案における「監査等委員でない取締役」の候補者のうち、柳澤成之氏、筒野信之進氏及び江河知寿氏については、本提案に係る「監査等委員でない取締役」の候補者のうち、取締役に選任する者の人数を 3 名に抑えないと、社外取締役の取締役会全体に占める割合が低下してしまうため、経験等に鑑みて、これら 3 名については反対推奨するとされているとの情報を入手いたしました。しかしながら、この点は事実誤認ではないかと考えられるため、本日、当会は、その旨をご説明する文書を、別紙のとおり公開いたしましたので、ここにお知らせいたします。

報道機関 お問い合わせ窓口

「天馬のガバナンス向上を考える株主の会」

事務局：連絡先 03-6721-5099

(報道対応に係る業務受託者：パスファインド株式会社)

ホームページ：<http://tsukasanews.com>

注：本書は、本総会における会社提案議案及び株主提案議案のいずれについても、当会を構成する者又は第三者に議決権の行使を代理させることを勧誘するものではありません。